

令和2年度 三好丘小学校 経営方針及び重点努力目標

1 本校の教育目標

＜校訓＞ よく学ぶ子 助け合う子 たくましい子

- ア よく遊びよく学んで、豊かに個性を伸ばす。
- イ 体験を通して、感謝と思いやりの心を養う。
- ウ 健康的な生活を実践して、たくましい心身を育てる。

2 経営方針

ア めざす学校像

- ・互いを思い合い、笑顔で爽やかなあいさつや返事が行き交う「安心安全で明るい学校」
- ・子どもたちが主体的に学び合い、人権意識をもって自主的に活動する「楽しい学校」
- ・5S（整理・整とん・清掃・清潔・習慣）を日常化した「整ったきれいな学校」
- ・自ら学び、本音で語り合い、認め合い、高め合う「感動のある学校」
- ・校区保幼小中学校・家庭・地域との連携・協働の強化による「支え合い応援される学校」

イ めざす児童像

- ・基礎学力、基本的な生活習慣を身につけ、主体的・対話的に深く学び合い、人権意識と夢をもって、より豊かに生きる意欲・向上心をもった児童

ウ めざす教師像

- ・社会人としての素養と公務員としての高い意識をもち、めざす児童像、めざす学校像の実現に向けて、同僚と協働し、授業力や児童理解力、経営力、新しい指導方法への意欲等の「教師力向上」に真摯に取り組む、にこやか、前向きな教師

3 本年度の重点努力目標

ア 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ・「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱のもと、バランスよく育まれる授業づくりに努める。
- ・基礎学力（興味、関心、習得、活用、探求等）、基本的な社会習慣（協働、対話、関わり合い、人間性等）を大切にした学級・学年づくりを目指す。

イ 子どもたちが主体となって活躍する学級づくり・学校づくり

- ・自分自身や学級、学校、地域に誇りをもち、未来に向け主体的に生きる子どもの育成に努める。
- ・児童会、委員会、学級が同じ目標に向かって取り組み、子どもたち同士で認め合い、高め合う学校風土を醸成し、教師はその支援方法を工夫改善する。

ウ 互いに思い合う心の教育の充実

- ・あらゆる活動を人権教育、道徳教育の視点でとらえ、校区内の保幼小中学校はじめ家庭・地域・関係機関との連携を強化し、社会に開かれた教育課程を重視する。
- ・基本的な生活習慣（笑顔・会釈・爽やかなあいさつ、「はい」の返事、整理整頓、廊下歩行、時間を守る等）ができる子どもを育て、教師はその模範となる。
- ・縦割り活動、通学団・班の登下校を通し、高学年を中心に互いを思いやり、仲良くまとまりある集団づくりを育む。
- ・特別な教育的支援を必要とする子どもとその家庭の理解を深め、関係機関との連携も強め、共に支え合って生きようとする心を育てる。教師は深い児童理解に努める。

エ 心と体の健康と安全の推進

- ・「人権意識の高揚」「いじめは許さない」「早寝早起き朝ご飯」に取り組み、規則正しく、心も体も健康で、他を思いやる子どもの育成に努める。
- ・毎日の声かけ、日記、遊びへの参加、朱書き、観察などで、子どもとの心のキャッチボールを大切にして、安心感・信頼感・満足感・自尊心を高める。
- ・落ち着いて生活する子どもたちの育成に努め、けがの未然防止に努める。
- ・管理職のマネジメント力を向上させ、職員と共に働き方改革、多忙化改善に努める。